

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 京極運輸商事株式会社
 コード番号 9073 URL <http://www.kyogoku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山谷 純
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 湊 英夫
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-5825-7143

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,435	3.3	20	△38.1	25	△67.0	8	△72.0
25年3月期第2四半期	4,292	△5.0	33	△31.0	75	1.7	31	2.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 258百万円 (104.0%) 25年3月期第2四半期 126百万円 (△12.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	2.78	—
25年3月期第2四半期	9.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	6,375	2,807	43.8	895.52
25年3月期	6,549	2,772	42.1	864.80

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,795百万円 25年3月期 2,760百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,860	1.5	65	0.0	80	△39.8	45	△39.2	14.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	3,200,000 株	25年3月期	3,200,000 株
26年3月期2Q	78,369 株	25年3月期	8,335 株
26年3月期2Q	3,156,648 株	25年3月期2Q	3,191,692 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその現実を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済対策により企業収益や個人消費に改善の兆しが見えるものの、来年4月からの消費税率引き上げや中国をはじめとする新興国経済の減速などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

物流業界におきましては景気の回復基調に支えられ、国内貨物輸送量に改善の兆しがみられたものの、荷主間にばらつきがあり、本格的な回復には至らず、また燃料価格の高止まり等により、引き続き厳しい経営環境下にあります。

こうした環境のなか、当社グループにおきましては、引き続き営業力強化による売上拡大と業務効率化に努めてまいりました。その結果、港湾運送及び通関事業における取扱量の減少はありましたが、石油・ドラム缶等販売事業が順調に推移し、売上高は4,435百万円と前年同四半期に比べ143百万円(3.3%)の増収となりました。

次に損益面につきましては、石油・ドラム缶等販売事業による増収、港湾運送及び通関事業におけるコスト削減による増益もありましたが、貨物自動車運送事業、倉庫事業及びタンク洗滌・修理事業における減益により、営業利益は21百万円と前年同四半期に比べ13百万円(△38.1%)の減益となりました。なお、前連結会計年度に、震災で被災した機械装置等の買換えによる補助金収入等が発生したこともあり、経常利益は25百万円と前年同四半期に比べ51百万円(△67.0%)の減益となり、四半期純利益は9百万円と前年同四半期に比べ23百万円(△72.0%)の減益となりました。

なお、セグメントの業績は次のとおりであります。

(イ) 石油・ドラム缶等販売事業

石油販売においては、販売数量の増加及び販売平均単価の上昇により増収となり、また、ドラム缶等販売においては、再生缶の販売数量増加により増収増益となりました。結果として、売上高は1,880百万円と前年同四半期と比べ138百万円(7.9%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は34百万円と前年同四半期と比べ10百万円(40.0%)の増益となりました。

(ロ) 貨物自動車運送事業

石油輸送は輸送数量増加により増収、化学品輸送は主要取引先の輸送数量減少により減収となりました。また、燃料費の高騰もあり、結果として、売上高は1,631百万円と前年同四半期と比べ8百万円(△0.5%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は85百万円と前年同四半期と比べ14百万円(△13.8%)の減益となりました。

(ハ) 港湾運送及び通関事業

国内需要低迷による輸入取扱量の減少はあったものの、徹底したコスト削減に努め、結果として、売上高は252百万円と前年同四半期と比べ34百万円(△12.0%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は19百万円と前年同四半期と比べ21百万円の増益となりました。

(ニ) 倉庫事業

主要取引先の取扱量の減少もありましたが、荷役作業量の増加等により増収となりました。また、倉庫上屋保管料を中心とした原価の増加等により、結果として、売上高は258百万円と前年同四半期と比べ11百万円(4.6%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は28百万円と前年同四半期と比べ21百万円(△43.2%)の減益となりました。

(ホ) タンク洗滌・修理事業

受注件数が増加したことによる増収もありましたが、人件費を中心とした経費が増加したことにより、結果として、売上高は 414 百万円と前年同四半期と比べ 35 百万円 (9.3%) の増収となり、セグメント利益 (営業利益) は 5 百万円と前年同四半期と比べ 11 百万円 (△67.2%) の減益となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、平成 25 年 11 月 7 日発表「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

特有の会計処理

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実行税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果になる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,039,922	977,737
受取手形及び売掛金	1,468,801	1,361,824
リース投資資産	17,689	19,367
商品	16,630	12,545
原材料及び貯蔵品	13,385	14,426
半成工事	78,919	60,640
繰延税金資産	46,382	46,381
その他	117,574	117,650
貸倒引当金	△4,922	△4,655
流動資産合計	2,794,380	2,605,915
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,969,509	2,956,077
減価償却累計額	△2,271,496	△2,284,824
建物及び構築物(純額)	698,013	671,253
機械及び装置	384,108	388,322
減価償却累計額	△252,945	△262,436
機械及び装置(純額)	131,163	125,886
車両運搬具	2,303,162	2,273,296
減価償却累計額	△2,014,607	△1,973,777
車両運搬具(純額)	288,555	299,519
土地	1,254,441	1,254,441
リース資産	457,801	469,570
減価償却累計額	△209,516	△249,607
リース資産(純額)	248,285	219,963
その他	189,650	143,069
減価償却累計額	△160,864	△117,173
その他(純額)	28,786	25,896
有形固定資産合計	2,649,243	2,596,958
無形固定資産	8,717	8,401
投資その他の資産		
投資有価証券	885,515	968,228
リース投資資産	40,685	44,887
その他	179,598	160,401
貸倒引当金	△8,819	△8,906
投資その他の資産合計	1,096,979	1,164,610
固定資産合計	3,754,939	3,769,969
資産合計	6,549,319	6,375,884

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	899,872	845,452
短期借入金	775,800	754,800
リース債務	99,506	96,783
未払費用	179,632	153,899
未払法人税等	33,043	20,004
賞与引当金	94,158	91,265
その他	278,638	185,950
流動負債合計	2,360,649	2,148,153
固定負債		
長期借入金	384,000	371,100
リース債務	226,121	205,391
退職給付引当金	654,288	686,272
役員退職慰労引当金	52,278	49,814
資産除去債務	65,514	62,968
その他	33,783	44,207
固定負債合計	1,415,984	1,419,752
負債合計	3,776,633	3,567,905
純資産の部		
株主資本		
資本金	160,000	160,000
資本剰余金	4,995	4,995
利益剰余金	2,412,657	2,411,857
自己株式	△2,720	△31,434
株主資本合計	2,574,932	2,545,418
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	185,206	250,057
その他の包括利益累計額合計	185,206	250,057
少数株主持分	12,548	12,504
純資産合計	2,772,686	2,807,979
負債純資産合計	6,549,319	6,375,884

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	4,292,622	4,435,237
売上原価	4,023,485	4,193,215
売上総利益	269,137	242,022
販売費及び一般管理費		
販売費	10,978	11,006
一般管理費	224,973	210,463
販売費及び一般管理費合計	235,951	221,469
営業利益	33,186	20,553
営業外収益		
受取利息	33	38
受取配当金	12,039	12,542
営業車両売却益	3,025	6,925
持分法による投資利益	1,568	—
補助金収入	33,026	2,434
軽油引取税交付金	1,635	1,532
その他	3,053	6,686
営業外収益合計	54,379	30,157
営業外費用		
支払利息	11,383	10,163
持分法による投資損失	—	14,435
その他	236	1,026
営業外費用合計	11,619	25,624
経常利益	75,946	25,086
特別利益		
固定資産売却益	—	2,491
特別利益合計	—	2,491
特別損失		
投資有価証券評価損	1,434	—
固定資産売却損	11	292
固定資産除却損	941	591
特別損失合計	2,386	883
税金等調整前四半期純利益	73,560	26,694
法人税等	41,784	17,849
少数株主損益調整前四半期純利益	31,776	8,845
少数株主利益	400	56
四半期純利益	31,376	8,789
少数株主利益	400	56
少数株主損益調整前四半期純利益	31,776	8,845
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	97,153	247,651
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,004	2,405
その他の包括利益合計	95,149	250,056
四半期包括利益	126,925	258,901
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	126,598	258,808
少数株主に係る四半期包括利益	327	93

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。